

1 橋梁諸元  
1-1 橋梁条件  
    玄岳本線人道BOX

■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	田方郡函南町畑
交差物	道路
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	7.9 m
最大支間長	7.0 m
全幅員	13.0 m
有効幅員	11.8 m
下部工形式	A1：ボックスカルバート(側壁)
	A2：ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1：直接基礎
	A2：直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	無

■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年2月

■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下

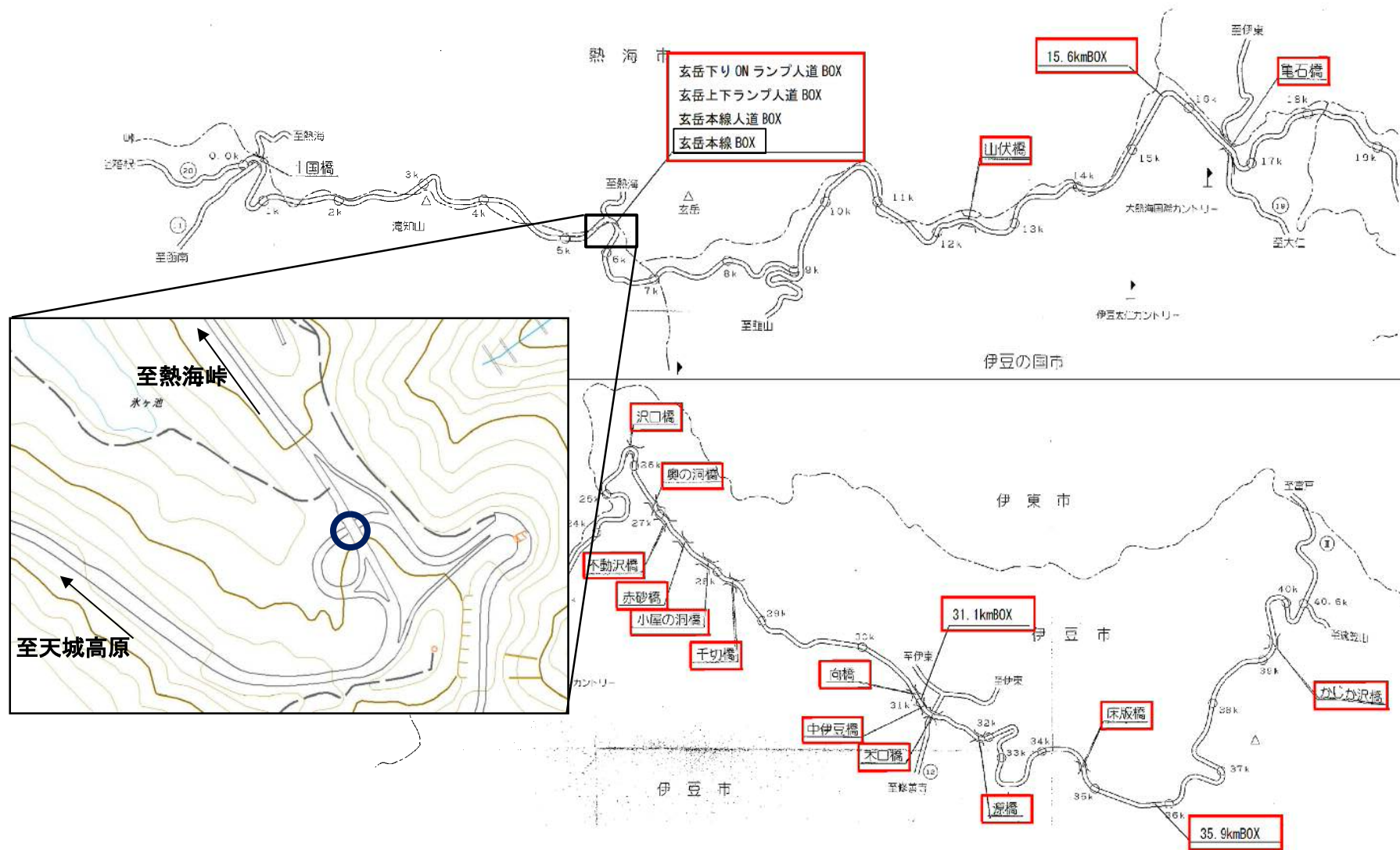


写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)

位置図



## 1 橋梁諸元

## 1-1 橋梁条件

## 玄岳上下ランプ人道BOX

## ■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	熱海市熱海
交差物	その他(二次災害の可能性なし)
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	2.6 m
最大支間長	2.6 m
全幅員	10.3 m
有効幅員	8.4 m
下部工形式	A1: ボックスカルバート(側壁)
	A2: ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1: 直接基礎
	A2: 直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	無

## ■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年1月

## ■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

## ■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)



1 橋梁諸元  
1-1 橋梁条件  
    玄岳本線人道BOX

■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	田方郡函南町畑
交差物	その他(二次災害の可能性なし)
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	5.8 m
最大支間長	5.2 m
全幅員	10.4 m
有効幅員	7.0 m
下部工形式	A1: ボックスカルバート(側壁)
	A2: ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1: 直接基礎
	A2: 直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	無

■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年1月

■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

■現況写真



写真1 全景(右が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)

## 1 橋梁諸元

## 1-1 橋梁条件

玄岳下りONランプ人道BOX

## ■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	熱海市熱海
交差物	その他(二次災害の可能性なし)
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	2.6 m
最大支間長	2.6 m
全幅員	5.1 m
有効幅員	4.5 m
下部工形式	A1: ボックスカルバート(側壁) A2: ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1: 直接基礎 A2: 直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	有

## ■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年1月

## ■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

## ■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)

1 橋梁諸元  
1-1 橋梁条件  
15.6kmBOX

■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	伊豆の国市長者原
交差物	道路
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	5.3 m
最大支間長	4.5 m
全幅員	25.0 m
有効幅員	8.0 m
下部工形式	A1：ボックスカルバート(側壁)
	A2：ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1：直接基礎
	A2：直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	無

■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年2月

■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)



1 橋梁諸元  
1-1 橋梁条件  
31. 1kmBOX

■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	伊豆市冷川
交差物	道路
上部工形式	RC床版橋
橋長	4.4 m
最大支間長	4.4 m
全幅員	47.5 m
有効幅員	47.5 m
下部工形式	A1：不明
	A2：不明
基礎工形式	A1：直接基礎
	A2：直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	有

■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年1月

■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)

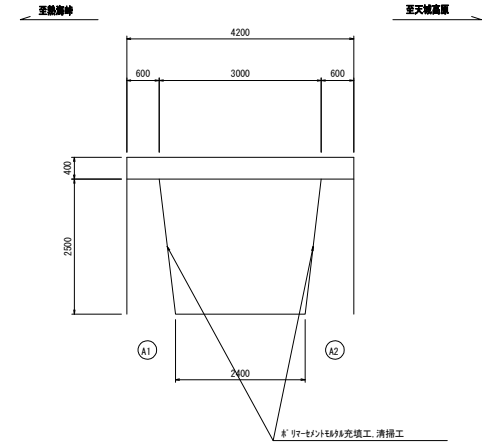
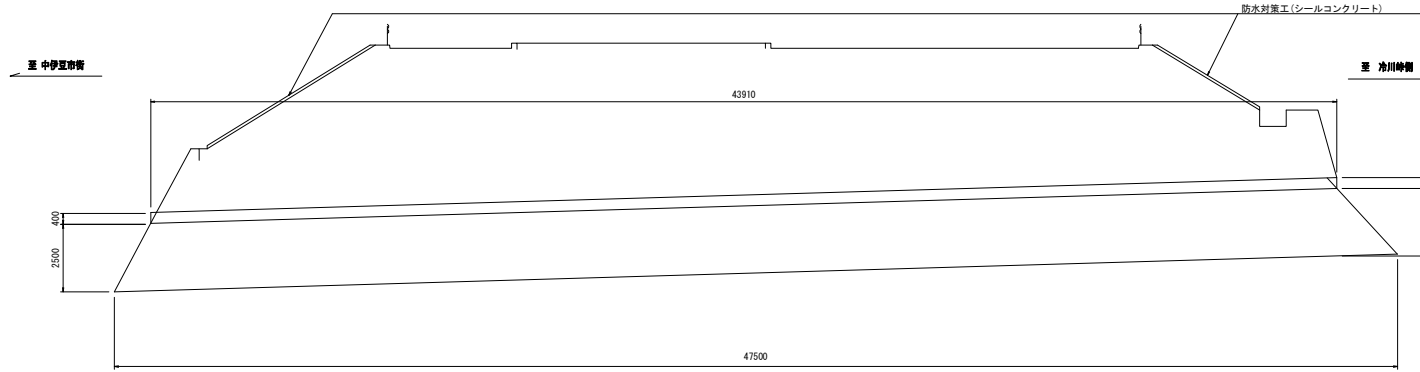


写真4 下部工(A1橋台)

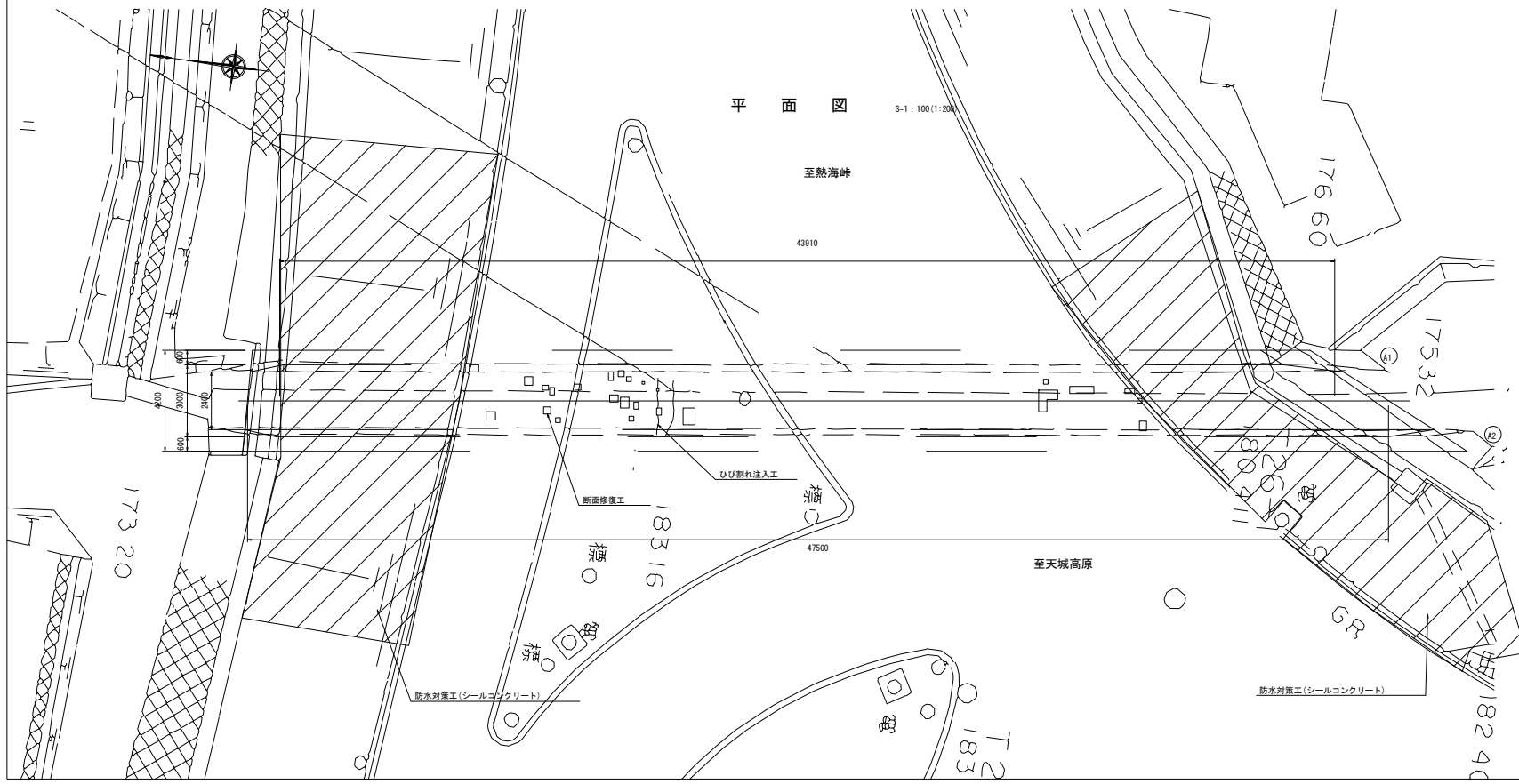
# 31.1kmBOX 補修一般図

断面図 S=1:100(1:200)

断面図 S=1:50(1:100)



平面図 S=1:100(1:200)



■条件表

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
構造形式	床版橋(ボックス)
橋長	4.2m
適用示方書	不明

■補修工数量表

工種	補修箇所	単位	数量	備考
断面修復工		m3	0.168	鉄筋防錆工
断面修復工		m3	0.003	うき
ひび割れ注入工		m3	0.009	ジャンカ
防水対策工		m	5.200	2.60×2.60
清掃工	側壁	m2	271	シーリング剤

工事名	平成28年度 伊豆スカイライン 橋梁補修工事	
工事箇所	伊豆市 冷川 地内	
図面の種類	31.1kmBOX 補修一般図	
縮尺	図示 ( )内はA3縮小	図面番号 16 葉中 13
測量年月日H	設計年月日H	
事務所名	静岡県道路公社	



1 橋梁諸元  
1-1 橋梁条件  
35.9kmBOX

■橋梁条件

架設年次	不明
路線名称	伊豆スカイライン
橋梁位置	伊豆市冷川
交差物	道路
上部工形式	ボックスカルバート
橋長	11.5 m
最大支間長	10.0 m
全幅員	12.7 m
有効幅員	9.0 m
下部工形式	A1：ボックスカルバート(側壁)
	A2：ボックスカルバート(側壁)
基礎工形式	A1：直接基礎
	A2：直接基礎
設計活荷重	-
地盤種別	-
設計水平震度	-
適用示方書	-
添架物	有

■補修・補強履歴

沓座縁端拡幅	-
落橋防止構造	-
主桁・横桁補修	-
床版補修	-
舗装打換え	-
橋面防水	-
伸縮装置取替え	-
橋梁点検	平成26年2月

■既存資料

橋梁台帳		無
上部工	図面	無
	設計計算書	無
下部工	図面	無
	設計計算書	無
補修 補強	図面	無
	設計計算書	無

■現況写真



写真1 全景(左が起点)



写真2 桁下



写真3 橋面(起点側から)



写真4 下部工(A1橋台)